



【朝会（10/2）での校長の話】

始めに、昨日、学校が休校になったことについて話します。9月30日の夕方、保健所から山名小に、学校関係者がコロナウイルスに感染していることが確認されたと連絡がありました。その後、保健所の担当者の方が、学校に濃厚接触者がいないかを調べに来ました。

皆さんがマスクをして授業をしていたこと、教室に入る前には手洗いをしていたこと、教室がいつも換気されていたこと、給食の配膳の時の消毒や食事の時の机の向きが正しかったこと、皆さんが帰った後にも消毒を行っていたことなどで濃厚接触者はいないと判断されました。「新しい生活様式」をみんなで意識して生活していたことが感染防止に役立ちました。

そして、昨日、校舎内をしっかりと消毒したことで、山名小学校で感染する心配がなくなり今日から学校を再開することができました。これからも「新しい生活様式」を意識した生活を続けていきましょう。

次に感染された人を思いやってほしいことをお話します。今回感染した人も、全く知らないうちに、普通に生活する中で感染をしてしまいました。どこにも悪かったところはありません。しかし、感染してしまったことで、「多くの人に迷惑を掛けてしまった。」「色々な人に悪口を言われるのではないか。」と心配をしています。感染した人を探すようなこと、悪口を言うようなことは絶対してはいけません。

誰もが気持ちよく生活できる山名小であるために、感染した人を思いやる優しい気持ちをもって生活してください。

最後に、朝会に準備していた話をします。6年生の教室を回っている時、卒業アルバムの内容について話し合っているところでした。好きなアニメを載せるのはどうか？という意見が出ていました。近くの6年生に「好きなアニメは何？」と尋ねると「鬼滅の刃」と教えてくれました。その少し前には、1年生から瀬豆子（ねずこ）の手作りペンダントをプレゼントされたばかりでした。鬼滅の刃は、多くの人に影響を与えている作品だと改めて感心しました。

2年生の教室を回っている時、好きなゲームソフトを尋ねると「あつ森」と答えた子が多くいました。「あつ森」は外国でも人気があるというニュースを思い出しました。

人気のアニメやゲームを楽しむことはよいことですが、袋井市では、そういうアニメやゲームを考えることのできる人を育てたいということで、思考ツールを授業に取り入れ、皆さんの考える力を伸ばしています。皆さん、授業で多くの思考ツールを使ったことがあると思います。その使い方をしっかり身に付け、考える力を伸ばしてください。

また、他の人が楽しんだり、喜んだりするものをつくるには、深く考える力だけではなく、皆に喜ばれるものをつくりたいという思いも大切になります。この思いは、あることに楽しんで取り組んだり、こうしようと思ったことをやり続けたりすることで、強めることができると考えます。

そして、この楽しんだり、やり続けたりすることが、学校教育目標の「こころざし」をもつこととつながっていると考えます。毎日の学校生活や運動会、修学旅行、自然教室など学校行事の中で、これが楽しい、これを続けていこうというものを見付け、積み重ねていってほしいと思います。